

鳥取県地震

2023年（令和5年）4月

鳥取地方気象台

目次

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	2
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	3
(3) 地震・津波の知識	
緊急地震速報を活用した訓練について	4

- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。

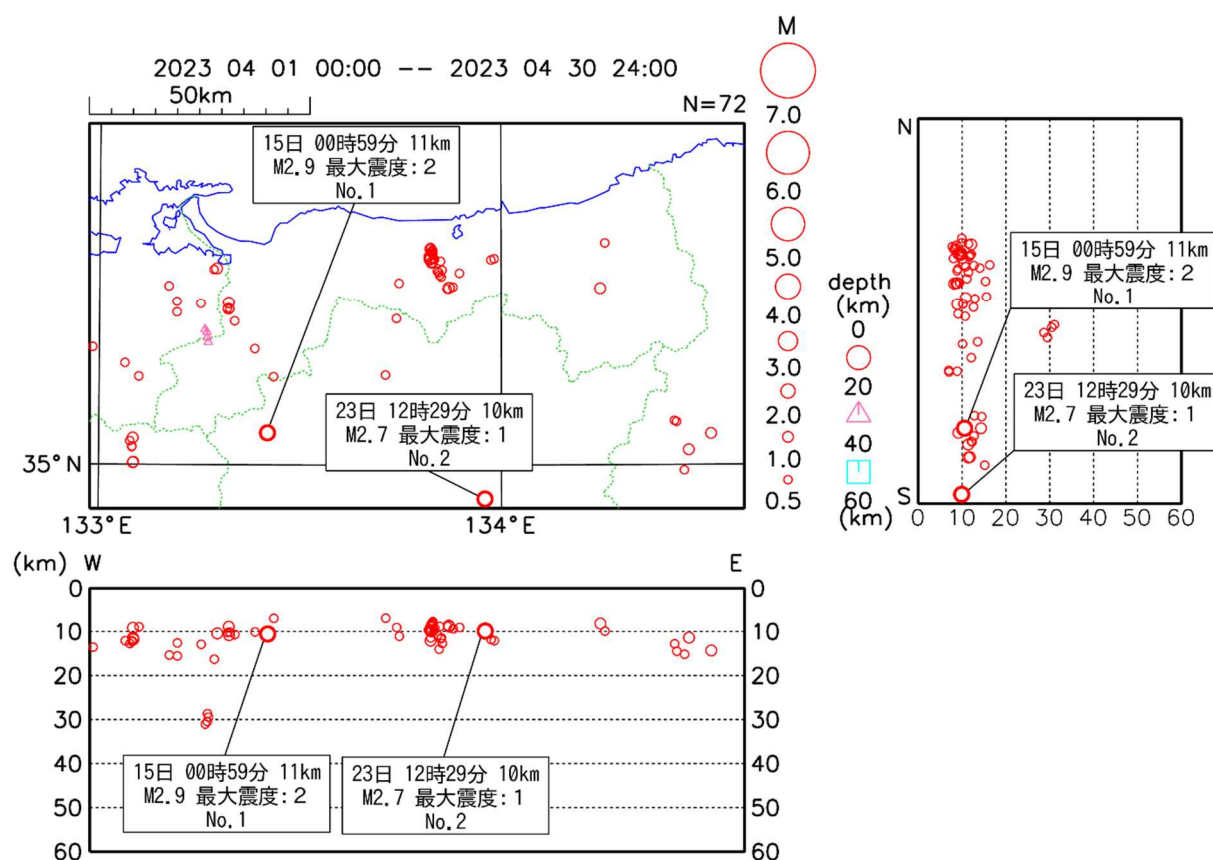
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

- 本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2023年4月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回（先月は0回）でした。

12日12時54分 島根県東部の地震（深さ8km、M3.9）により、島根県雲南市で震度3を観測したほか、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、香川県で震度2～1を観測しました。鳥取県内では、境港市で震度1を観測しました。

15日00時59分 岡山県北部の地震（深さ11km、M2.9）により、岡山県新見市で震度2を観測したほか、鳥取県、岡山県で震度1を観測しました。鳥取県内では、日野町で震度1を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は2回（前月は1回）でした（番号は震源リストに対応）。

なお、23日12時29分に発生した地震（上図のNo.2）は岡山県でのみ震度が観測されています。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

期間 : 2023年4月1日00時00分～2023年4月30日24時00分

緯度 : 34° 55' ～35° 45' N 経度 : 133° 00' ～134° 40' E

深さ : 0 km～60 km

No.	発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2023年04月15日00時59分	岡山県北部	35° 03.9' N	133° 25.1' E	11	2.9	2
2	2023年04月23日12時29分	岡山県北部	34° 55.8' N	133° 57.5' E	10	2.7	1

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

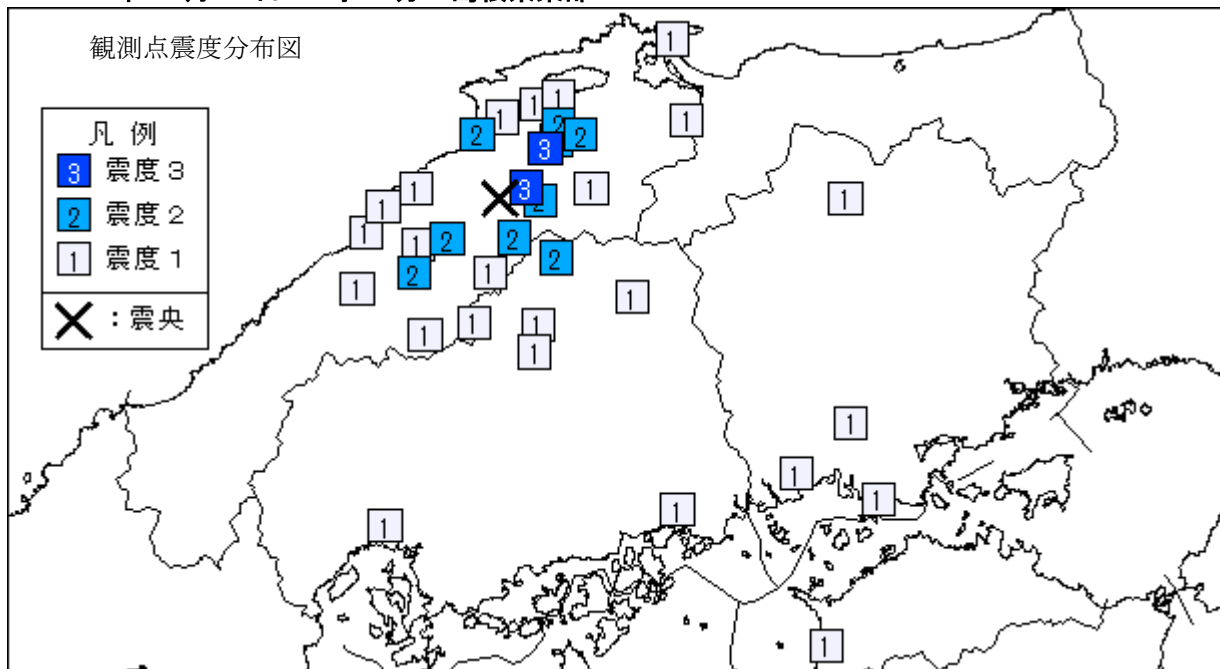
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2023年04月12日12時54分	島根県東部	35° 10.3' N	132° 44.6' E	8km	M3.9
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 境港市東本町					
2023年04月15日00時59分	岡山県北部	35° 03.9' N	133° 25.1' E	11km	M2.9
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 鳥取日野町根雨*					

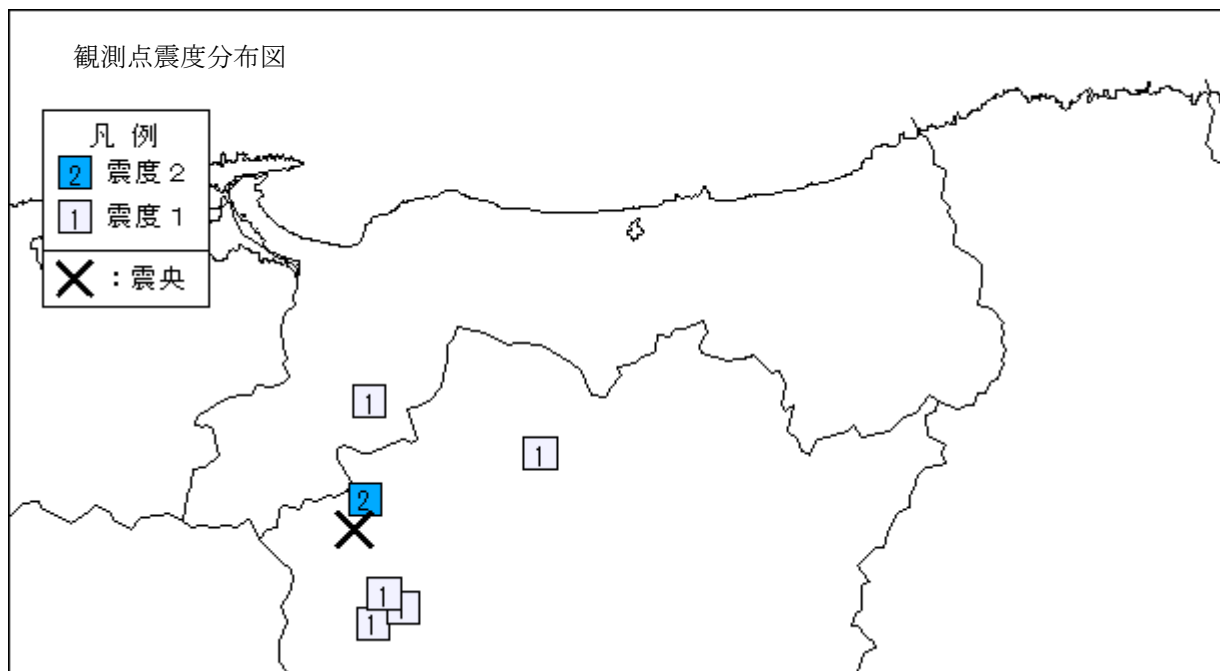
- ・*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
- ・震源が複数記載されている地震は、ほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができないものです。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図（図中×は震央）]

2023 年 04 月 12 日 12 時 54 分 島根県東部



2023 年 04 月 15 日 00 時 59 分 岡山県北部



（３）地震・津波の知識

緊急地震速報を活用した訓練について

令和５年６月１５日（木）に緊急地震速報の全国的な訓練が行われます。

地震はいつ起きるか分かりません。

緊急地震速報は、情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。「**あわてず、まず身の安全を守る**」行動を起こすためには、その場その時の状況に合わせてどのような行動を取るべきかをあらかじめ知り、行動している自分を想像しておくことが大切です。また、その想像をもとに実際に行動をとり経験することが重要です。

○全国訓練の実施日時

令和５年６月１５日（木）１０時００分頃

※訓練用の緊急地震速報は、テレビ・ラジオや、スマートフォン等の緊急速報メールには流れません。

○訓練の方法

緊急地震速報を活用した訓練は大きく２つのやり方があります。

一つは防災に積極的な自治体や行政機関などが行う訓練に参加すること。

もう一つは、専用の受信端末または、気象庁が提供する訓練用動画を利用すること。

具体的な訓練方法は気象庁ホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kunren.html>



令和５年２月１日より、発表基準に長周期地震動階級の予想値を追加して発表することとし、長周期地震動階級３以上を予想した場合でも、緊急地震速報（警報）を発表しています。緊急地震速報を見聞きした時の行動は長周期地震動階級の追加前と変わりません。「**周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する**」ことが基本です。

※長周期地震動とは、大きな地震で生じる、周期（揺れが１往復するのにかかる時間）が長い大きな揺れのこと、高層ビル等では大きく長時間揺れ続けることがあります。

地震の揺れを感じる前に緊急地震速報を見聞きした時も、緊急地震速報を見聞きする前に地震の揺れを感じた時も、行動内容は同じです。



緊急地震速報を見聞きしたら…
(地震の揺れを感じなくても)

周囲の状況に応じて

**あわてず、
まず身の安全を!!**



地震の揺れを感じたら…
(緊急地震速報がなくても)

家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる



エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



屋外(街)では

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



自動車運転中は

- 急ブレーキはかけずゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす




上記のほか、訪れた施設等において緊急地震速報を見聞きした時は、身を守り、係員の指示に従ってください。

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和5年4月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/tottori/bosai/jishin/jishin.html>

問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313